

<活動の様子>



手話ダンスを披露する HANDSIGN のメンバー



ライブ会場の様子（上）スタッフとの記念撮影（下）



事業名 HANDSIGN ライブ 2014 in えひめ

H26. 7. 5 松前町総合文化センターにて 「HANDSIGN ライブ 2014in えひめ」を開催

<目的>

難聴者と健聴者が障害の有無に関わりなく一緒に歌やダンスを楽しんでほしいとの思いと、HANDSIGN を愛媛県に招致する活動を通して、障害について知ってもらい、理解を深めてもらうことを目的としました。

<事業内容>

【ライブのプログラム】

- ・デフリンピックメダリスト 佐藤将光選手による講演
- ・Do. c DANCECLASS によるキッズパフォーマンス
- ・HANDSIGN パフォーマンス

<市民の参画や他団体との連携>

実行委員会を発足し、一般の支援者をはじめ、様々な方が運営に携わって下さいました。

ライブ当日は愛媛大学をはじめとする多数の大学生ボランティアがスタッフとして奔走してくれました。

<市民に対するPR>

聴覚障害は、一見わかりにくいことから差別や偏見の対象となることがあるため、障害について正しく理解をしていただきたい。

特に、「人工内耳」について、近年、医療技術の進歩により、低年齢の子どもが手術により装用できるようになったが、言語を獲得するうえでは様々な困難があり、人工内耳を装用することで、障害が治るわけではなく、きこえにくい、という事実には変わりはないので、正しい知識・理解を深めていただくために、今後も様々な活動を通して知ってもらえるよう努めていきたいと思っております。